



# 春日井ロータリークラブ 2013~2014 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

## ロータリアンとして世界・地域に奉仕しよう

市民がウォーキングや散歩の折りに、それぞれの故郷を思い出し、自然や緑を大切にする心の糧となるよう、全国ロータリークラブの協力により、各地の県木・市木60余本を植樹しました。  
(春日井ロータリークラブ創立25周年記念事業 1994年4月)

会 長：屋嘉比良夫  
副 会 長：大橋 完一  
副 会 長：太田 弘道  
幹 事：加藤久仁明  
会報委員長：近藤 太門

例 会 日：金曜日 12:30~13:30  
例 会 場：ホテルプラザ勝川  
事 務 局：春日井市鳥居松5-45  
T E L：(0568)81-8498  
F A X：(0568)82-0265  
E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



(仮称)総合保健センター  
※イメージ図



落合公園体育館

ロータリーの森の桜

### 本日のプログラム

- |              |          |                 |
|--------------|----------|-----------------|
|              | 司会       | 伊藤 純君<br>屋嘉比良夫君 |
| ・点 鐘         |          |                 |
| ・ROTARY SONG | 「四つのテスト」 |                 |
| ・今月の歌        | 「北帰行」    |                 |
| ・ビジター紹介      |          | 屋嘉比良夫君          |
| ・食事・歓談       |          |                 |
| ・委員会報告       |          |                 |
| ・会長挨拶        |          | 屋嘉比良夫君          |
| ・福祉のつどい鉢植    |          |                 |
| ・幹事報告        |          | 加藤久仁明君          |
| ・点 鐘         |          | 屋嘉比良夫君          |

### 今月の歌

北帰行  
窓は 夜露にぬれて  
都 すでに遠のく  
北へ帰る 旅人ひとり  
涙流れて やまず

### 先週の記録

#### 会長挨拶 会長 屋嘉比良夫君

皆さん今日は。早くも11月1日です。やっと秋っぽくなって来ましたね。行楽シーズン到来です。車でお出掛け予定の人もみえると思いますが、どうぞ安全運転で楽しんで下さいね。先日某所で週刊誌を見ましたら『「高齢者の運転が危ない」キャンペーンの不都合な真実』という見出しの記事を見ました。一部ですが紹介させていただきます。今年9月28日に65歳の男性が運転する乗用車が東関東自動車道を逆走して別の乗用車と正面衝突事故を起こしました。相手の車に乗っていた3人のうち女性1人が死亡、残る2人もけが

### 2013年11月2日(土)第2161回(11月第2例会)

を負う事故が起きました。「高速道路を逆走」という考えられないミスの原因を多くのマスコミは65歳という運転者の年齢に求め「高齢者の運転は危険極まりない」と強く印象付けました。例えばこの運転者が64歳であれば報じ方は全く違うものになっていたでしょう。65歳以上が高齢者ドライバーと言うなら私もバリバリの高齢者で毎日運転しています。たまに「ドキッ」とする時もありますが、年にはあまり関係ないと思います。若い頃から誰しもが有る事です。若い時の方が多かったと思いますよ。確かに年を重ねて行く程、運転に必要な身体能力が衰えて行くのは事実でしょうがその分「倍返し」で安全運転を心掛け、気を付けて気を使って運転していますよ。「65歳以上の高齢者の運転が危ない」と十把一絡げで決め付けるのは納得いきません。こんなデータがあります。平成24年の65歳以上のドライバーの交通事故件数は102,997件でした。では10年前の平成14年はどうだったか、83,058件でした。これを比較すれば約1.2倍に増えている事になり、これだけ見れば確かに「高齢者の事故は増えている」と思いますが、しかし65歳以上の免許保有者は、平成14年には826万人だったのが平成24年には1,421万人と約1.7倍と増えている訳で、高齢者ドライバーの増加率程、事故の件数は増えていません。また免許保有者のうち65歳以上の高齢者の占める割合は17%、しかし全体の事故件数に占める高齢者ドライバーの割合は16%で20代の21%(保有者14%)30代の19%(保有者20%)に比べても低い事が解かります。であるのに、自動車保険の大手損保会社は相次ぎ「高齢者事故で収支悪化」と保険料の値上げを高齢者の事故増加のせいにしてしているのです。私はお

### ロータリー財団月間

例	11月15日(金)	11月23日(土)	11月29日(金)	12月6日(金)
会	祝福	11月22日変更	卓話	理事役員会 11:30
予	卓話 朽本 正樹君	ニュートン林檎の木植樹式	地区 職業研修チーム委員長	年次総会
定	卓話 和田 了司君	春日井植物園 10時	福田 哲三君	

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：[ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp)

もしも有りませんが、皆さんはいかがでしょうか。

いずれに致しましても交通事故は「加害者も被害者」と言います。事故を起こしてから悔やんでも遅いですから安全運転には日頃から十二分に気を付けられて快適なドライブを楽しみたいものです。

**幹事報告**                      **幹事**                      **加藤久仁明君**

**第5回理事役員会報告**

日時：2013年11月1日（金）

**審議内容**

第1号議案：10月一般会計報告承認の件

第2号議案：河村哲也君休会承認の件

第3号議案：2013年クリスマス家族会承認の件

第4号議案：セブ島あしなが事業第2期支援者承認の件

上記審議事項すべて可決承認

① 第3回地区環境委員会

日時：2013年12月5日(木) 16時00分～ 場

所：ガバナー事務所分室 出席義務者 地区環境

委員：峠テル子君

② 第22回RYLAセミナー

日時：2014年3月22日(土) 10:00より3月

23日(日) 14:45まで

場所：愛知県美浜少年自然の家

出席義務者 新世代委員長：宅間秀順君

**◎例会変更のお知らせ**

一宮中央 RC	11月20日(水) 11月20日(水) ゆったり例会の為 未定
名古屋和合 RC	11月20日(水) 11月24日(日) 地区大会の為ウェスティンナゴヤキャッスル
愛知長久手 RC	11月19日(火) 11月24日(日) 地区大会の為ウェスティンナゴヤキャッスル
岩倉 RC	11月26日(火) 11月24日(日) 地区大会の為ウェスティンナゴヤキャッスル
名古屋空港 RC	11月25日(月) 11月26日(火) RI 会長代理例会の為
名古屋千種 RC	11月19日(火) 11月24日(日) 地区大会の為ウェスティンナゴヤキャッスル
名東 RC	11月25日(月) 11月24日(日) 地区大会の為ウェスティンナゴヤキャッスル
愛知長久手 RC	11月26日(火) 11月24日(日) 地区大会の為ウェスティンナゴヤキャッスル

**出席報告**                      **委員長**                      **伊藤 一裕君**

会員 55名	欠席 14名	出席率 74.5%
先々週の修正出席	欠席 1名	出席率 98.1%

**ニコボックス報告**                      **委員長**                      **成瀬 浩康君**

○加藤将人君の入会を祝して。頑張りましょう！！  
屋嘉比良夫君

○これからお世話になります。加藤 将人君

○加藤将人君をお迎えする喜びで。風岡 保広君

○卓話をさせていただきます。宜しく願いしま

す。長谷川英輝君

○長谷川君を楽しみにしています。近藤 太門君

○明日の「福祉につどい」ご参加宜しくお願いし

ます。和田 了司君

○今年もあと2ヶ月。元気で過ごせますように。

青山 博徳君

○豊田大和キッズこども園の入札が10/24無事終

わり、当方の予定価格以下で落札されました。大

変喜んでいきます。小川 長君

○税務調査無事終了しました。宅間 秀順君

○加藤将人君の入会、長谷川英輝君の卓話に。

足立 治夫君 磯野 俊雄君 太田 弘道君

大畑 一久君 岡田 義邦君 岡嶋 良樹君

亀谷 鉦一君 加藤久仁明君 加藤 茂君

加藤 宗生君 貴田 永克君 志水ひろみ君

社本 太郎君 朽本 正樹君 中島 宗幸君

名畑 豊君 中川 健君 野浪 正毅君

林 憲正君 蓮野 美廣君 場々大刀雄君

古屋 義夫君 山田 治君 山田 倫章君

○ご協力ありがとうございました。尚、本日集ま

った全額をセブ島の地震見舞いに寄付させてい

たいただきましたのでご了承下さい。成瀬 浩康君

**卓話**    **長谷川英輝君**

春日井RCに入会して5年が経ちました。入会して1～2年は例会に出席するのが苦痛だった、というのが正直なところです。何事も小難しく考える性格なので、「RCの目的ってなんだろう？」

「例会の意味ってなんだろう？」ということを入会時から考え込んでしまいました。RCを語るときには『職業奉仕』という言葉がついてまわりますが、皆さん口をそろえて「職業奉仕の概念は難しい」とおっしゃいます。RCの根幹である職業奉仕が難しいとすると、RCの目的や例会出席の意義も難しくてよくわからない。それが僕にとっての苦痛の原因であったと思います。程度の差はあれ、新入会員の方々は多かれ少なかれ同じ思いをされたことがあるのではないのでしょうか。

少し話は変わりますが、新入会員の入会3年以内の定着率の低さはどこのクラブでも共通の課題のようです。僕なりに職業奉仕と絡めてこの問題を考えてみました。新入会員、特に働き盛りで仕事第一の若い会員は、例えばBNIのような仕事の回しあいを期待して商売目的で入る人も多いかと思

います。ところが入ってみると、そういった目に見える効果は乏しく、期待していたほど直接仕

事

事

事

事

事

事

事

事につながらない。そこで短期間で失望して例会には出席しなくなり、退会してしまうという流れがあるような気がします。端的に言うと、「職業奉仕を旗印にするRC活動が、自分の職業に役立たない」と思ってしまうわけです。

僕自身もRC活動は仕事に役立つかどうか疑問に感じていましたが、職業奉仕についての勉強を通じて少し認識が変わってきた部分があります。それは、これまで単なる倫理規範や道徳規範だと思っていたRCの様々な標語などが、実は事業経営に密接に結びついているということを知ったからです。

例えば、「4つのテスト」はハーバート・テラーが破産状態の会社を建て直すにつくった社員全員で共有する倫理規範だった。つまり、経営そのものをよくするツールだったわけです。また、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (He profits most who serves best)」という言葉もこれまでは宗教的・精神的意味合いで捉えており、「なんか聖書のことばみたいだな」と思っていました。しかし、この言葉をRCに持ち込んだシェルドンはRC加入前からセールスマン向けの専門学校を経営しており、その学校のテキストには既にこの文句が載っていたそうです。RCにも同じ意味・文脈で持ち込まれたかどうか今となってはわかりませんが、もともとの考え方は「仕事」そのものに関するものだったわけです。これらの事実を知るにつれ、RCのいろんな考え方は回りまわって仕事に結びつくのかも、と思うようになりました。

職業奉仕委員会でもらったテキストを読んでいて、もう一つ考えたことがあります。同年代の友人をRCに勧誘するとよく言われるのが、「RCって毎週例会があるんだよね？忙しくて出席するのが大変そうだから、例会が少ない他の団体の方にしようと思う」ということです。僕も忙しい時は例会出席が負担になるのが実情であり、なかなか反論できませんでした。しかし職業奉仕関係のテキストを読んでいたところ、「小芋を磨く話」を見つけました。RCは何かを手取り足取り教えるような場所ではない。小芋がこすれ合って自然に泥が落ちるように、RCでは例会出席を通じてお互いの振る舞いを自然に吸収しながら自分の人格を磨いていく、というような話です。これを読んで感じたのが、「RCは毎週例会に出席する義務がある」と捉えるのではなく、「自分を高めるためのチャンスが毎週ある。そこに自分の出席できる範囲内で出席するようにする」と発想を転換してもよいのではないかと、いうことです。『規則的例会出席の原則』の考え方には反するかもしれませんが、時代に応じた考え方や言い方も必要な気がします。長所も逆さまにすれば短所になるし、短所も裏か

ら見れば長所になる、という柔軟な発想があってもいいのではないのでしょうか。

本日は怒られそうな話ばかりしてしまいましたが、最後に、かつての新入会員から、現在の新入会員にひとことお伝えしたいと思います。僕が入会2年目くらいで悩んでいたころ、今は亡くなられたある先輩会員の方から「長谷川君、RCはむずかしく考える必要ないよ。ただ出席していればいいんじゃないかな。」とアドバイスをいただきました。いま振り返ると、この言葉はすごく奥の深い言葉だった気がします。もし僕と同じように小難しく考えて悩んでいる新入会員の方がいらっしゃるなら、あまり考えずに例会に出席するのも一つの手だ、ということをご参考にしていただければと思います。

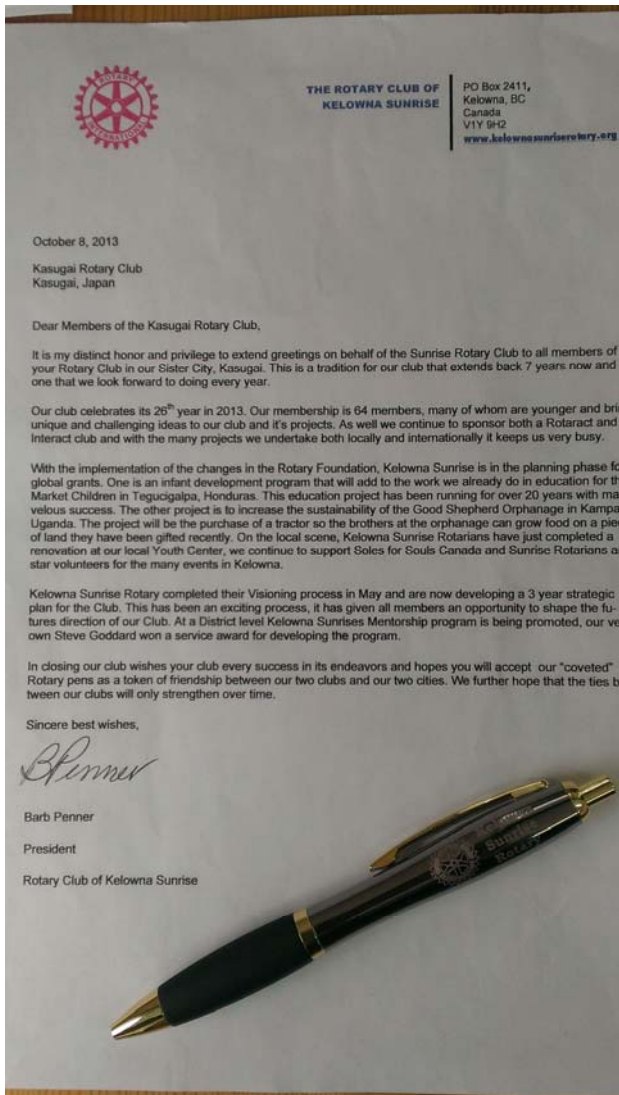


入会式 加藤将人君



卓話 長谷川英輝君

## ケローナサンライズRC親書



親愛なる春日井 RC メンバーの皆さんへ  
サンライズ RC を代表して、姉妹都市の春日井ロータリーのメンバーの皆様にご挨拶申し上げますことは、大変名誉なことであり私の特権であります。こうしたことは今や7年間にわたる私たちクラブの伝統であり、毎年行われることを楽しみにしていることでもあります。

私共のクラブは2013年に26周年を祝います。メンバー64人の多くは若く、个性的かつ挑戦しがいのあるアイデアを、クラブやクラブの計画に提案してくれます。また、私たちはローターアクトやインターアクトクラブの後援を続けており、携わっている計画が国内外にたくさんことから、日々多忙を極めております。

ロータリー財団の補助金の変更実施にともない、ケローナサンライズは2つの国際貢献プログラムの計画段階にあります。一つは子供の発展プログラムで、ホンジュラスのテグシガルバの市場の子供たち (Market Children) に私たちがすでに行っている教育プログラムに追加するものです。この教育プログラムは20年にわたり実施されてきており、大変大きな成果を上げています。もう一つの計画は、ウガンダのカンパラにあるグッドシェパード孤児院をより強固に存続することです。この計画では、最近子供たちが贈与された土地の一部に彼らが食物を育てることができるよう、トラクターを購入する予定です。国内においては、丁度、地域の青少年センターの改装を終えたところです。そして途上国や被災地へ靴を送るプログラム (ソールズ・フォー・ソウルズ・カナダ: カナダ版心の靴運動) のサポートを続け、ケローナにおいて多くのイベントにおいて輝かしいボランティア活動を行っています。

ケローナサンライズロータリーでは、今年5月に目指すべき姿への行程表を完成し、現在3カ年戦略を展開しているところです。これはとても刺激的で、すべてのメンバーにクラブの方向性を形づくる機会を与えるというものです。所属する地区で我々の指導者プログラムが評価され、われらのスティーブ・ゴッダード君が、職業奉仕プログラムの進展で奉仕賞を受賞しました。

最後になりましたが、私たちクラブは、努力と希望のもとあらゆる成功があなた方クラブにあらんことを願っております。我々クラブ間、2都市間の友情の印として”誰もが憧れる”のロータリーのペンをご笑納ください。私たちクラブ同士のご縁は、年を重ねてなお強くなるだけであることを、大変期待しております。

ケローナ・サンライズ・ロータリークラブ 会長  
バーブ ペナー